

【広域ブロック自立施策推進調査】

フォローアップ(計画・実績)報告書

調査名		産業遺産を活用した広域連携及び多様な主体の連携による地域活性化方策に関する調査	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	国土交通省 九州地方整備局	
	関係府省(庁)局課名等	経済産業省 九州経済産業局、福岡県、鹿児島県	
調査地域		福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県	
調査年度		平成21年度	
配分額		41,956千円	
調査概要	調査内容	九州・山口地域にはUNESCOの世界遺産暫定一覧表に記載された近代化産業遺産群があり、圏域が一体となった広域的な地域活性化を図っていくためには、これらの貴重な資源を活用することが重要である。本調査では、これらの産業遺産を活かして、九州圏全体で整合がとれたまちづくり・景観形成等を進めるための広域的指針の策定、海外における先進的な民間活力の導入、これらを促進するための経済効果の算出、多様な主体の広域的な連携組織の設置等のための検討を行った。	
	調査結果(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業遺産を活かした地域活性化への民間活力導入に関する調査において、イギリスの世界遺産活用の調査を通じて、旧産炭地域における活用モデルケースを提示するとともに、地域活性化の種となる民間活力導入の方策を提案。 ・官民の事業展開による経済効果に関する調査において、筑豊地域、三池地域、長崎地域をモデル地域に設定し、ヒアリングにより地域の現状等を把握するとともに、アンケート調査結果等を活用して経済効果を算出。モデル地域における経済効果が最大となるプログラムの方向性や世界遺産ルートのあり方等について提案。 ・地域間連携や多様な主体の連携のための仕組みづくりに関する調査において、海外先進事例も参考に、産業遺産を将来にわたって保存・活用していくための行政・企業・NPO等の各主体間及び広域的な連携組織のあり方やNPOの新たな取組の具体策等を提案。 ・産業遺産を活かしたまちづくり・景観形成施策の展開に関する調査において、八幡地域、鹿児島地域、萩地域をモデル地域に設定し、海外先進事例も参考に、産業遺産の保存・活用、周辺地域の魅力的なまちづくりの具体策、景観法に基づく景観計画の策定、広域的な取組の方針・具体策等を提案。 これら官民一体となった取組により、産業遺産を活用した広域的な地域活性化を図っていくためのグランドデザインが得られた。	
	関係する広域地方計画(中間整理(案)等)	九州圏広域地方計画第5章第7節	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会関係自治体などで調査結果を共有。 ・海外事例調査、民間活力導入方策、経済効果等をHPやイベントその他様々な機会を通じて情報発信・普及啓発。 ・まちづくり関連事業、景観計画策定方策等について、自治体関係部局と情報共有。 ・産業遺産の保存・活用及び広域的な地域活性化に関する先進事例として全国に情報発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体の産業遺産の保存管理計画、まちづくり計画、景観計画策定に反映予定。 ・包括的保存管理計画及びアクションプランに反映予定。 ・行政・企業・NPO等の各主体間及び広域的な連携組織のあり方を検討予定。 ・企業・NPO等による事業展開を促進。 ・サインその他広域的取組方針の意思形成を推進。
	22年度	【九州経済産業局】 <ul style="list-style-type: none"> ・九州産業観光研究会を平成22年10月開催。 ・世界遺産登録推進協議会等で調査結果を情報共有。 【福岡県】 <ul style="list-style-type: none"> ・県内関係各課に報告書を送付し、調査結果を情報共有。 ・調査結果を活用し、福岡県内の遺産群を紹介した冊子を作成。 【鹿児島県】 <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市で協議会を開催。(平成22年7月15日) ・下関市、長崎市、北九州市、熊本市、佐賀市にて幹事会を開催。(下関市:平成22年6月1日、長崎市:平成22年9月1日、北九州市:平成22年11月8日、熊本市:平成23年1月17日、佐賀市:平成23年3月25日) ・「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会で、広域ブロック調査報告書内容を情報共有(平成22年6月1日協議会幹事会で説明)。 ・各自治体において調査結果を説明し、広域又は地域で実施するべきハード・ソフト事業など具体的取組について検討。 	【九州経済産業局】 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体、経済界、関係機関等による「九州産業観光研究会」を設置。同研究会において、世界遺産登録に向けた課題を「九州・山口の近代化産業遺産群 世界遺産登録推進協議会」に提案。 ・九州成長戦略アクションプランに「産業観光の推進と九州・山口の近代化産業遺産群の活用」というアクションを盛り込んだ。 【鹿児島県】 <ul style="list-style-type: none"> ・九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録に必要な産業遺産の保存管理計画の策定において、国内外の事例調査結果を活用。 ・広域にわたる遺産群を分かりやすく紹介した冊子を作成し、地域住民のまちづくりへの意識啓発や地元の経済団体等の取組促進を図った。 ・新成長戦略の観光・地域活性化を進めるために産業遺産や工場見学等の情報発信など、産業観光の振興を推進。広域ルート化や民間活力活用にあたって本調査結果を活用。
23年度	【九州経済産業局】 <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録推進協議会等で調査結果を情報共有。 【福岡県】 <ul style="list-style-type: none"> ・田川市において、MOW登録された「山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書」に係る保存・活用等各種検討委員会を開催。調査結果の内容を活用。 ・「山本作兵衛氏とその作品を中心とした田川地域の広域振興プロジェクト実行委員会」による『たがわマンス』の開催。 ・調査結果を活用し、福岡県内の遺産群を紹介した冊子を作成。 【鹿児島県】 <ul style="list-style-type: none"> ・下関市で世界遺産登録推進協議会総会を開催。(平成23年6月6日) ・鹿児島市、山口市、福岡市で幹事会を開催。(鹿児島市:平成23年5月20日、山口市:平成23年9月9日、福岡市:平成24年1月18日、3月28日) ・各自治体において広域又は地域で実施するべきハード・ソフト事業など具体的取組について検討。 ・「地図で見る近代化遺産物語」のパンフレットをHPに掲載。 	【九州経済産業局】 <ul style="list-style-type: none"> ・経産局として世界遺産登録推進協議会にオブザーバー参加。適宜助言等を行う。 【福岡県】 <ul style="list-style-type: none"> ・「大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン(素案)」を策定。 ・「福岡県総合計画」策定。「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録推進、MOW「山本作兵衛氏の炭坑の記録画並びに記録文書」について総合計画に記述。保存・活用を推進。 【鹿児島県】 <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録に係る推薦書等の作成を進めた。 ・山本作兵衛氏の炭坑の記録画および記録文書が、日本で初めて世界記憶遺産に登録された(平成23年5月25日、福岡県田川市と福岡県立大学が共同申請)。 ・平成22年度に作成した「地図で見る近代化遺産物語」の内容を修正し、地域住民のまちづくりへの意識啓発や地元の経済団体等への取組促進を図った。 	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">フォローアップ</p>	<p>24年度</p> <p>【九州経済産業局】 ・調査結果を参考に開催した稼働資産に係わる地元勉強会(平成23年度実施)で築いたネットワークによる連携を深めていく方針を確認した。</p> <p>【福岡県】 ・調査結果を活用し、福岡県内の遺産群を紹介した冊子(平成24年度版)を作成。</p> <p>【鹿児島県】 [HPによる情報発信等] ・近代化産業遺産群、世界文化遺産登録の取組等を紹介する協議会HPの更新(日本語・英語)。 ・「地図で見える近代化遺産物語」のパンフレットを関係各所に配布。 ・普及啓発用パンフレットの新規作成及び既存版の更新。 ・鹿児島県の近代化産業遺産、近代化事業を分かりやすく紹介・説明する県内小学校5・6年生向けの副読本「かごしまタイムトラベル」の活用。 ・上記副読本「かごしまタイムトラベル」を学校で活用してもらうため、教職員を対象とした自主学習講座を実施。 ・鹿児島県内遺産の紹介パネルの作成。 ・「地域の近代化産業遺産や世界文化遺産登録を目指す取組にかかる普及啓発・地域づくり」をテーマとして、「まち歩き」の実施、「語り部」の育成、出張講座、パネル展等を実施。</p> <p>【会議・セミナー・シンポジウム等】 ・九州・山口の近代化産業遺産群/世界遺産登録推進協議会総会を開催し、構成資産(案)及び事業計画等について関係者間で協議を実施した(福岡市(2回))。 ・九州・山口の近代化産業遺産群/世界遺産登録推進協議会幹事会を開催し、世界文化遺産登録に向けた取組等について協議を実施した(長崎市・伊豆の国市・熊本市・佐賀市)。 ・九州・山口の近代化産業遺産群/世界遺産登録推進協議会で、保存管理計画作成部会を開催し、資産の保存管理等にかかる協議・検討を行った(福岡市(2回)・熊本市)。 ・平成25年1月27日に、「九州・山口の近代化産業遺産群 世界遺産シンポジウム」を開催した(会場:北九州市/参加者数:約350名)。このシンポジウムは、九州経済連合会や九州観光推進機構等から後援を受けたほか、構成資産が所在する各地元のNPO等(NPO萩まちじゅう博物館、NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会等)が事例発表を行うなど、多様な主体との連携を図る形で開催した。</p>	<p>・稼働中の産業遺産を世界遺産登録に向けて推薦する場合の取扱について平成24年5月25日に閣議決定がなされた。 ・稼働資産を含む産業遺産の保存管理に対して、専門的な立場からアドバイス等を行う「稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議」(事務局:内閣官房地域活性化統合事務局)が、上記閣議決定に基づき設置された(平成24年7月)。</p> <p>【九州経済産業局】 ・世界遺産登録に向けて活動している世界遺産登録推進協議会の活動に参加。</p> <p>【福岡県】 ・大牟田市において「史跡 三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 専用鉄道敷跡 保存管理計画書」を策定。策定委員会に参加し適宜助言を行う。 ・熊本県荒尾市において「重要文化財 旧万田坑施設 保存活用計画策定委員会」にオブザーバー参加し適宜助言を行う。 ・九州・山口の近代化産業遺産群/世界遺産登録推進協議会に参加。登録活動を推進。</p> <p>【鹿児島県】 ・世界遺産登録に係る推薦書等の作成を進めた。</p>
<p>総括的評価</p>	<p>調査目的の達成状況とその要因</p> <p>・九州・山口の近代化産業遺産群が平成21年1月にユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載されたのを契機に、近代化産業遺産を活かした地域活性化を図るために実施した本調査は、平成25年9月に政府推薦案件として「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」に決定したことから、当初の目的の近代化遺産を活かした地域活性化の後押しとなる大きな関門の一つを達成できた。九州経済産業局では、調査結果を基に、世界文化遺産登録に向けた課題等について関係自治体や施設管理者との勉強会の開催や近代化産業遺産群等をホームページで発信することで観光等による地域活性化に寄与できた。</p> <p>・平成22年度以降、本調査結果も踏まえながら、国や関係自治体で連携を図りつつ、シンポジウムの開催、ホームページによる情報発信、パンフレットや小学校高学年向け副読本の作成・配布、情報共有等を目的とした会議の開催などに取り組み、国による、稼働資産を含む産業遺産を保全するための新たな枠組みの確立(平成24年5月閣議決定)など、着実に世界文化遺産登録に向けて取り組むことができた。今後とも、本報告書における提言も参考にしながら、平成27年度の世界文化遺産登録に向けて、国や関係自治体で一層の連携を図りながら、取り組みたい。</p> <p>調査手法の妥当性</p> <p>・関係自治体と連携した調査により調査終了後の活動がスムーズとなり、当初の目的の近代化遺産を活かした地域活性化に向けた取り組みが継続できていることから、実施時期、調査手法共に適正であったと考える。反面、本調査では、地域活性化に向けた取り組みの一つに、産業遺産を活用した地域活性化と民間活力導入を取り上げたが、実際に民間プロジェクトが連続して創造するまでには至っていないことから、その仕組みまでも視野に入れた調査とその後のフォローアップも含めた取り組みとすることも一つの手法であったと考える。</p>	